

日本言語政策学会（JALP）第17回大会

大会テーマ：多言語社会の中の言語権

日時：2015年6月6日（土）～7日（日）

場所：椙山女学園大学（名古屋市）星が丘キャンパス・文化情報学部メディア棟
（名古屋市営地下鉄東山線星が丘駅下車徒歩10分）
（<http://www.sugiyama-u.ac.jp/sougou/access.html>）

資料代：会員500円 一般1000円

6月6日（土）12:00～ 受付開始（文化情報学部メディア棟G階ロビー）

第1日目 会場 **メディア棟G階001教室**

（控室 メディア棟B階009会議室兼多目的室）

総合司会 猿橋順子（青山学院大学）

13:00-13:10 **開会の辞**

副会長挨拶 岡本能里子（日本言語政策学会副会長）

13:10-13:55 **基調講演**

「シチズンシップ・エデュケーションと言語政策」

講演者 宮崎里司（日本言語政策学会会長）

趣旨解説など 西山教行（日本言語政策学会副会長）

14:05-15:05 **特別講演**

「琉球及びおきなわ児童の言語教育権：日本政府に国連：自由権規約委員会より勧告」

講演者 比嘉光龍（ふいじゃばいろん：沖縄キリスト教学院大学、
歌三線者）

紹介・司会 杉野俊子（工学院大学）

15:10-15:20 **会場校挨拶** 森棟公夫（椙山女学園大学学長）

15:20-17:40 **全体シンポジウム：テーマ「多言語社会の中の言語権」**

発表1：「死滅言語復興—南オーストラリア州・ガーナ語再生 (Kaura Language Reclamation)」 濱嶋聡（名古屋外国語大学）

発表2：「中国朝鮮族のバイリンガリズムと言語権」

李 守（昭和女子大学）

発表3：「言語正常化政策の困難—進む脱ガリシア語化と言語権」

柿原武史（南山大学）

発表4：「インドにおける言語と学校教育—社会流動性と格差の再生産」
野沢恵美子（東京大学）

司会・討論者 杉野俊子（工学院大学）

18:00-20:00 **懇親会** 大学会館 2階 （会費 4,000円 予定）

6月7日（日）9:30～ 受付開始（文化情報学部メディア棟G階ロビー）

第2日目 会場 **メディア棟G階ロビー、001教室、
メディア棟1階127教室、128教室、
（控室 メディア棟B階009会議室兼多目的室）**

10:00-11:30 **一般研究発表** 12:00-13:00 **ポスター発表**

第1会場 **メディア棟G階001教室** 司会 岡戸浩子（名城大学）

10:00-10:30「交差する学校アイデンティティと教師アイデンティティ—ユジノサハリンスク市の初中等教育機関で日本語を指導するロシア人教員の語り—」竹口智之（立命館アジア太平洋大学）

10:30-11:00「英語教育におけるモデルとしての諸英語・目標としての『日本英語』」橘広司（関東国際高等学校）

11:00-11:30「英語の知性と日本語の知性」蒲原順子（明海大学）

第2会場 **メディア棟1階127教室** 司会 原隆幸（鹿児島大学）

10:00-10:30「情報保障の定義を再検討する」かどやひでのり（津山高等専門学校）

10:30-11:00「国家の教育権限と言語教育政策—学習指導要領の法的性格をめぐって—」杉本篤史（東京国際大学）

第3会場 **メディア棟1階128教室** 司会 高民定（千葉大学）

10:00-10:30「林芙美子が見た日本占領下インドネシアにおける言語政策」山下聖美（日本大学）

10:30-11:00「多言語環境下における韓国人児童の親の言語教育表象」金ボラ（京都大学・院生）

11:00-11:30「台湾タオ族の日本語継承—キリスト教信仰から—」大輪香菊（桜美林大学）

ポスター発表 **メディア棟G階ロビー**

12:00-13:00「多様な背景の学生による大学院ゼミ活動の参加過程分析—ゼミ内で記入されたコメントシートの分析を中心に—」馬場美穂（桜美林大学・院生）

「タイの少数民族に対する言語政策とその問題点：二言語教育かタイ語のみによる単一語教育するのか」ラサミ・チャイクル（電気通信大学）

13:00-13:30 総会 メディア棟G階 001 教室

13:30-17:20 分科会

第1分科会 13:30-15:20 メディア棟1階 127 教室

「在日外国人の学習権：外国人受刑者への日本語教育の観点から」

司会 宮崎里司（早稲田大学）

吉村幸司（国連アジア極東犯罪防止研修所 UNAFEI 教官）

第2分科会 15:30-17:20 メディア棟1階 127 教室

「観光と言語—外国人接遇の限界をキーワードにして」

司会 山川和彦（麗澤大学）

「外客8割を迎える小さな宿の取り組み」柳井尚美（旅館松前・奈良県奈良市旅館ホテル組合インバウンド委員会委員長）

「観光接触場面のコミュニケーションと日本語」加藤好崇（東海大学）

「海外の観光従事者を対象とする中国語教育—韓国の済州島の事例を中心に—」高民定（千葉大学）

「インバウンドのための多言語対応の必要性と限界」藤井久美子（宮崎大学）

「観光地のインフラとしての言語政策—外国語による接遇の限界はあるか」山川和彦（麗澤大学）

第3分科会 13:30-15:20 メディア棟1階 128 教室

「高等学校における複数外国語の選択必修化のための制度設計」

司会 上村圭介（大東文化大学）

長谷川由起子（九州産業大学）

山下誠（神奈川県立鶴見高等学校）

吉村雅仁（奈良教育大学）

第4分科会 15:30-17:20 メディア棟1階 128 教室

「マルチリテラシーと言語政策」司会 岡本能里子（東京国際大学）

「『音にさわる』読書法—盲人文化と視覚障害者支援—」広瀬浩二郎（国立民族学博物館）

「社会参加を支えるメディア・リテラシー—美大留学生の公共CM制作実践—」三代純平（武蔵野美術大学）

「能動的なメディア・リテラシー」今村和宏（一橋大学）